



2023年1月31日
株式会社静岡銀行
株式会社山梨中央銀行

リコーリース株式会社に「サステナビリティ・リンク・ローン」を実行

株式会社静岡銀行(代表取締役頭取・八木 稔)と株式会社山梨中央銀行(代表取締役頭取・関 光良)は、本日、リコーリース株式会社(代表取締役社長執行役員・中村 徳晴)に対する「サステナビリティ・リンク・ローン」の協調融資を実行しましたので、お知らせします。

なお、本件は「静岡・山梨アライアンス」におけるサステナブルファイナンスに係る協調融資の第1号案件となります。

「サステナビリティ・リンク・ローン」とは、お客さまがSDGsやESGにおける目標値となるサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(SPTs)を設定し、その達成状況に応じて金利などの融資条件が変動する融資商品です。

リコーリース株式会社は、リース&ファイナンス事業、サービス事業、インベストメント事業を主軸に総合的なフィナンシャルサービスを提供するなか、持続可能な社会の実現に向けた取り組みとして、2050年度にバリューチェーン全体のCO2排出量をゼロとする中長期目標を掲げています。

また、同社では、サステナビリティ経営を加速させるため、昨年12月に「サステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワーク」を策定(※1)し、CDP気候変動スコア(※2)において評価が高い「リーダーシップレベル」を維持することをSPTsに設定しました。本ローンは、本フレームワークで設定したSPTsに基づき融資します。

なお、本フレームワークの適合性およびSPTsの適切性については、株式会社格付投資情報センターよりセカンドオピニオンを取得しています。

※1 サステナビリティ・リンク・ファイナンスによる資金調達を継続的に行うことを前提とした包括的な枠組みを規定したもの

※2 世界の主要企業などを対象に「気候変動」「水」「森林」に関する質問状を送付し、温室効果ガスの排出や気候変動による事業リスク・機会などの情報開示を求め、その回答をもとに評価・公表しているNGOが算出している気候変動スコア。評価はAとA-(リーダーシップレベル)、BとB-(マネジメントレベル)、CとC-(認識レベル)、DとD-(情報開示レベル)の8段階で付与される

両行では、今後もさまざまな知見を共有しながら、お客さまの多様な資金調達ニーズにお応えするとともに、持続可能な地域社会の実現に向けて連携して取り組んでまいります。

<本件の概要>

| | | |
|-----------|--------------------------------------|--------------------------------|
| 実行日 | 1月31日(火) | |
| 資金用途 | 運転資金 | |
| 契約先 | 会社名 | リコーリース株式会社 |
| | 所在地 | 東京都千代田区紀尾井町4-1 ニューオータニ ガーデンコート |
| | 設立 | 1976年12月 |
| | 資本金 | 78億9,686万円 |
| | 事業内容 | リース&ファイナンス事業、サービス事業、インベストメント事業 |
| SPTsの設定内容 | CDP気候変動スコアについて、リーダーシップレベル(A、A-)を維持する | |
| セカンドオピニオン | 株式会社格付投資情報センター(R&I) | |